

はっぴこどもえん えんだより 2024ねん

7期：1月9日～2月25日



作品：5歳児（雪だるま）

社会福祉法人 種の会

幼保連携型 認定こども園 はっぴこども園

〒657-0855

神戸市灘区摩耶海岸通2丁目3-14

TEL：078-805-3810

FAX：078-805-3820

携帯：080-3033-1952

Mail：hat@tanenokai.jp URL：<http://www.tanenokai.jp/>

種の会 法人本部Mail：tanenokai@jupiter.ocn.ne.jp



★ ウォッチマンについて

園庭で黄色のビブスを着ている職員はウォッチマンです。仕事内容は子ども達全体の様子を把握し安全・管理に努めています。仕事に集中するためにも黄色のビブスを着ている職員への声かけはご遠慮ください。必要の際には、他の職員へ声かけをお願いします。

★ 駐車場の利用について

車で送迎される方は、10分以内を目安に駐車場を空け、交代で多くの方にご利用いただけるようご協力よろしくお願いします。

★ 生活発表会について

2月17日(土)に3、4、5歳児は生活発表会を行ないます。

0、1、2歳児は家庭保育のご協力をお願い致します。詳細は後日、チャイルドケアウェブでお知らせします。



☆大切にしたい保育と体制の考え方について☆

園長 ^{かたやま} 片山

あけましておめでとうございます。元旦から大地震がありました。被災された皆様にはお見舞い申し上げます。

毎年、冬場は様々な感染症が流行りますが、行動制限のない年末年始となりました。2024年は、ここ数年の制限を払拭できるくらい子ども達や保護者の皆様にとって面白いことが待っている園でありたいと考えております。皆様が期待をもって登園したくなる園になることを目指し、願っています。

保護者の皆様には、何かとご協力を頂くことがあるかと思えます。職員一丸となって子ども1stの理念に向かって園文化を創りあげていきたいと考えております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

園が子どもにとって充実した環境となるよう、また皆様から信頼され、通い続けてよかったと思えるような魅力度を高めていくためにも「保育環境評価」というスケールを用いて公開保育を実施し続けています。この取り組みは8年以上継続していて、今年度も姉妹園等外部の方に来園してもらい評価頂いています。

空間構成や子どもの展示物などの室内環境面、食事・排泄・保健衛生などの養護面、言葉・自然・音楽や微細運動などの活動面、大人と子ども、子ども同士などの相互関係面など、約30項目からなる指標に基づいて評価するというものです。

当日の結果にも増して、公開保育までに子どもの生活空間や環境・遊びがより充実するよう所懸命準備すること、プレスケールといって自園で自己評価するようなこともしており、他者評価にも増して自己評価をきちんと行なうことが学びに繋がっています。

「保育に点数をつける」ことに対し、批判的な見方をされることがあります。確かに園文化や方針に合わない項目がいくつかありますが、客観的な指標があることで環境構成や保育者の関わりにおいて軸に触れ、役立つ面があることを実感します。

保育は、形に残りにくく、実践を可視化させにくいです。だからこそ内部だけに留まらず、外部からの目線に触れて学ぶことも大切であると私たちは思っています。

年が明けると、本格的に次年度の職員体制について検討する時期になります。

理念に基づいた教育保育の構築、食育の強化、子どもの生活に潤いをもたらす行事を進化させること、地域貢献の充実化、委員会活動の強化など、社会のニーズに基づき活気ある園づくりをしていくための体制です。

担任やフリー職員の決め方を丁寧に考えています。園長の独断だけで体制を決めていません。1人ひとりから希望をヒアリングすると同時に「仮に自身が園長ならば全体の配置をどうするか」という案を全職員が提出します。自身の希望と、全体バランスとを考慮した中で出てくる提案は1人ひとりの考えを磨いてくれます。

管理職はプレゼンを受け、様々なアイデアを参考にしつつ、調整して決定していきます。職員1人ひとりの意見は尊重されますが、希望が叶う人もいれば叶わない人も出てきます。特に叶わない人には丁寧に意図や想いを対話しながら理解と納得度を高めてもらえるように働きかけていきます。決定プロセスにおける民主主義度の高さ、理念であるところの「みんなでみんなをみていく園づくり！」の体現に努めていきます。

遊びを通して育つもの

副園長 兼 主幹保育教諭 ^{はら}原

年末年始は、いろいろな人と会う事が増え、子ども達はお年玉をもらったりおもちゃを買ってもらったりする機会もあったかと思います。今のおもちゃ屋さんを覗くと、幅広いジャンルが多種多様にあり、子どもの希望はあるにしろ、どれを与えるといいのか迷ってしまうことはありませんか。また、男女の違いや対象年齢の違いなど考慮する面もあります。少し専門的な話になると、日本の独自の文化と外国で好まれているおもちゃや遊びにもそれぞれ特徴があります。今回は、おもちゃに関してお伝えできたらと思います。

園で子ども達がよく遊んでいるおもちゃの中に、ドイツで好まれているボードゲームがあります。特徴は、友達と協力しながら空想の相手（ドラゴンやカラス）より早く宝を手に入れるものなど、みんなで遊ぶものが多く、基本的に大人から子どもまで一緒に遊ぶことを中心に作られておりファミリー指向になっています。年齢の設定はあるものの、ルールが分かるのであれば、子どもから大人まで、非常に幅広く遊べる内容になっています。また、すごろくのように運だけで行なうゲームはほとんど無く、だからといって、将棋や囲碁などのように知識を持った経験者が勝っていく物でもありません。そのため、初心者や子どもでも勝つことができる面と、習熟することにより勝ちやすくなるという上達の要素といった面もあるのが特徴です。デザインにもこだわりがあり、作りが立体になっているものや、素材も木製で触り心地の良いものもあります。

日本の伝統的な遊びやおもちゃは、個人的に楽しむものや一人二人と徐々に仲間を増やして楽しむもの、大勢でいっしょに楽しむものなど様々ですが、特徴は、すごろくや将棋など、1位・2位・3位の順位や勝ち負けが決まるものが多くあり、達成感を感じることができます。伝承遊びの中には、手や足や身体を直接使って楽しめるものが多くあり脳が刺激されるものや、歌やリズムに合わせて遊ぶものが多く、リズムの楽しさを味わうだけでなく遊んでいる子の周りのムードも楽しくなり、仲間に入りたくなるような効果があります。

いろいろな特徴を持ったおもちゃや遊びがあり、それぞれに良さがあります。その中で大切にしたいのは、遊びを通して、失敗（負け）をたくさん経験して欲しい事です。人は、大きな失敗をするとなかなか立ち上がるのが難しいものです。しかし、ボードゲームや遊びを通した小さな失敗は、大きな失敗に比べるとまだ立ち上がりやすくなります。個人で負けるより集団（仲間）で負ける方がショックを分け合える効果もあります。この、小さな失敗をしていきながらも楽しんで遊んでいくと、少しずつ心が強くなり、大きな失敗に負けない心が培われていきます。遊びを通してこのような心の経験を積み重ねていき、たくましい心を育てていきたいと思います。



〇さい
おひさまぐみ

かじはら すえぐち
梶原 末口
たたら いずみ
多良 泉

0歳児 7期 (1月9日~2月25日)
冬を味わう期

- 【ねらい】 冬の寒さを感じ、身体を動かすことを楽しむ
- 【うた】 ♪ゆきのこぼろず ♪コンコンクシャン ♪豆まきなど
- 【わらべうた】 ♪だるまさん ♪もぐらどん ♪いっちくたっちく など
- 【主な活動】 戸外遊び・クレパス遊び(なぐり描き)
絵の具(タンポ・指)・楽器遊び・紙遊び
- 【食育】 みかん・デコポン(1月) プロッコリー(2月)
- 【異年齢活動】 クローバーデイ・乳児交流



絵の具を触ったよ

みんなで絵の具遊びをしました。最初は水遊びをするように、水彩紙の上で水を広げて遊ぶ子ども達。手のひらで水を伸ばす子もいれば、足に水がつきそのまま足の裏で踏むようにして水をなじませていく子もあり、水だけでも触り方が違いさまざまな面白さがありました。

水彩紙に水が広がったので赤色の絵の具を出すと、経験のある子は手を伸ばしたっぴりと絵の具をつけて腕を左右に動かし赤く染めていました。また、“これはなんだろう”と戸惑っている子もいましたが、保育者が絵の具を手につけて水彩紙に色をつけていくのを見て、興味を持ち始めていました。指先に“ちょん”とつけるとそのまま水彩紙に線を描くようにして遊び、指先だけでなく手のひら、腕と絵の具をつける範囲が広がっていき、気が付けば水彩紙の真ん中まで移動し、遊んでいました。

初めてのことも、お友達や保育者と一緒にすることで“やってみたい”という気持ちになり、触れてみると“楽しいかもしれない”と少しでも感じられるような関りをしていきたいと思います。

これからも絵の具遊びを含めさまざまな感触を味わっていきます。





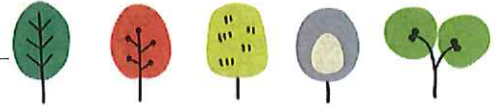
1さい
おひさま

かはら すすぐち
梶原 未口
たたら いずみ
多々良 泉



1歳児 7期 冬を味わう期（1月9日～2月25日）

- 【ねらい】 冬の寒さを感じ、身体を動かすことを楽しむ
- 【うた】 ♪ゆきのこぼろず ♪コンコンクシャン
 ♪豆まき
- 【わらべうた】 ♪おしくらまんじゅう ♪だるまさん
 ♪えんやらりんごの木
- 【主な活動】 戸外遊び 絵の具遊び（タンポ） 楽器 紙あそび
- 【食育】 みかん・デコポン（1月） ブロッコリー（2月）
- 【異年齢活動】 クローバーデイ 乳児交流



～絵の具で遊んだよ～

絵の具遊びをするときは、いつも水彩紙に絵の具を広げて遊んでいます。しかし、今回は水彩紙ではなく透明シートや銀色のアルミシート、和紙といった様々な素材を使って遊びました。子ども達は抵抗なく手の平に絵の具をつけて遊ぶ子や、指先にちょんちょんつけて様子を見ていた子や、周りのお友達の様子を見て真似して遊び、だんだんとダイナミックに遊ぶ子などさまざまな姿が見られました。

手足に絵の具をつけて床に貼っている紙に型をとったり、透明シートからうつっている食べ物のイラストにシート越しから色を塗ったりと、子ども達の面白い発想に驚かされました。

色に興味を持ち始めている子は「あか！」「きいろ！」と言ったり、赤と黄の絵の具が混ざっているのをみて「いろがかわった！」と言ったり、絵の具ならではの不思議さを感じているようでした。

いつもと違う素材に絵の具をつけて“あれ？”という表情をしながらも、身体全部が絵の具だらけになる程たくさん楽しんでいた子ども達でした。





2さい
なぎさぐみ

のうそう ぬくおか まえだ
能宗・福岡・前田



7期 冬を味わう期（1月9日～2月25日）

- 【テーマ】 戸外遊びを通して、冬の寒さを感じる
友達とルールのある遊びを楽しむ
- 【室内活動】 はさみ・のり など
- 【うた】 ♪ゆき ♪雪だるまのチャチャチャ ♪豆まき など
- 【わらべうた】 もちっこやいて おしくらまんじゅう かごめかごめ など
- 【集団遊び】 表現遊び しっぽとり など
- 【戸外活動】 園庭遊び・さんぽ（HAT内・近隣の公園）※気温を考慮します
- 【栽培】 にんじんの栽培をしよう
- 【食育】 冬野菜（1月）柑橘類（2月）※変更になる可能性があります
- 【異年齢活動】 クローバーデイ 幼児クラスと交流



表現あそび

なぎさ組では4月から、ダンゴムシ・オタマジャクシからカエル・カタツムリ・カブトムシ・クワガタムシ・スズムシ・バッタなど、さまざまな虫を飼育してきました。餌をあげたり、観察したりする中でいろいろな事を感じていたように思います。

6期は、そんな虫たちに変身して、ジャンプしたり登ったり、跳んだり丸まったりと表現あそびを楽しみました。保育者と言葉の掛け合いでは「あなたはだ～れ?」「ちょうちだよ～」などと、セリフもすぐに覚えて元気いっぱい言うことができていました。舞台を出し、お面をかぶると、さらになりきって楽しむ姿が子ども達。DVDをで子ども達が楽しんで取り組む姿をお届けできればと思っています。



幼児に向けて

12月から、少人数ずつ幼児クラスに給食を食べに行ったり、夕方の時間うみの部屋に遊びに行ったりしています。幼児のお兄ちゃんお姉ちゃんに給食を運んでもらったり、玩具の遊び方を教えてもらったりしています。

「今日はいく?」と楽しみにしており、部屋や物の使い方だけでなく、お兄ちゃんお姉ちゃんに優しく関わってもらってとても嬉しそうな子ども達です。来年度に向けて、無理なく慣れていけるように関わっていきたいと思います。





藤村・高橋



7期 (1月9日~2月25日)

【テーマ】	節分・発表会～冬の季節を楽しもう～	
【絵画製作】	発表会の大道具作り	
【うた】	♪ゆき ♪おにのパンツ ♪こんこんクシャン	♪雪のこぼろず ♪豆まき ♪けんかのあとは
【劇遊び】	表現遊び (ぞうくんの散歩・ポンタの自動販売機)	
【楽器】	リズム打ち (タンブリン・カスタネット・トライアングル) 合奏	
【農育】	冬野菜の水やり、追肥、冬支度	
【園外活動】	近隣の公園	



クリスマス製作

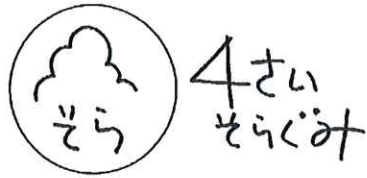
はさみで切った画用紙をサンタの帽子やツリーに見立てキラキラシール、ポンポン、どんぐり、綿の素材をデコレーションし、クリスマス製作をしました。「魔法のクリームだ」と大喜びで初めてのボンドに触れたり、シールを使ってキラキラにしたり、綿を雪に見立てたりして、可愛い帽子やツリーがたくさんできあがりしました。



クリスマスパーティー

クリスマスクッキングでホットケーキを作りました。この日をとても楽しみにしていた子ども達。エプロンや三角巾、マスクをつけて準備万端でグループの友達と協力して生地を焼き、パイナップル・ミカン・生クリームをトッピングしました。生クリームを絞る事が楽しかったようで「もう一回したい」と、嬉しそうに生クリームをホットケーキの上に乗せていました。「メリークリスマス！」とみんな協力して可愛く作ったケーキをおいしく楽しく食べ、パーティーを楽しみました。





たけなが
竹中

7期 (1月9日~2月25日)

- 【テーマ】 冬の行事を楽しもう
- 【うた】 ♪ゆき ♪ゆきのペンキやさん ♪豆まき
 ♪おにのパンツ ♪こころはればれ ♪劇中歌
- 【絵画製作】 小道具・背景作り
- 【食育】 まめまめパーティー (大豆の加工食品について)
- 【農育】 チューリップ・冬野菜の水やり、追肥、雑草抜き・冬支度 (藁敷き)
- 【楽器遊び】 合奏・ピアノ
- 【劇遊び】 こびとのくつや・ダンスオブハーツ
- 【冬の遊び】 福笑い・鬼ごっこ・おしくらまんじゅう

クリスマスツリーをつくったよ★

毛糸を使ったクリスマスツリー作りをしました。初めに画用紙に引かれている半円の線をはさみで切りました。そら組になって初めの頃は、はさみの使い方に困っていたり、線に沿って切ることが難しかったりする姿が見られましたが「紙を動かして切る!」と言いながら、上手に切ることができていました。ボンドを付けて毛糸を巻いたり、デコレーションボールやホイル紙を使って飾り付けをしたりして、楽しみながら作ることができていました。難しそうにしている友達に「一緒にやろうか?」と、声をかけて手助けする優しい姿も見られました。完成したツリーを嬉しそうに見ながら、クリスマスを楽しみにしている子ども達でした。



ダンスオブハーツ

外部講師の先生が来ることにドキドキしながらも、子ども達にとって楽しい時間でもあるダンスオブハーツ。カレンダーを見ながら「明日はダンスオブハーツだね」と、活動時間を楽しみにしている姿が見られます。初めは雰囲気圧倒されてしまい、固まってしまう姿も見られましたが、音楽に合わせて身体を動かしながら発声練習をしたり、歌に合わせてダンスしたりすることを笑顔で楽しむことができています。講師の先生の名前を覚えて、声をかけたり、一緒に笑顔で身体を動かしたりする姿がとても印象的です。



つりのせいせい

なかに
中谷

かもめ組では、様々な委員会活動があります。「自分に任せられる喜びを感じて自信に繋げる」「責任をもって自分の役割を果たす」「友達と話し合っ物事を決めていく」ことをねらいとして取り組んでいます。今回はそんなかもめ組の委員会活動について紹介します。

○誕生委員会

司会チーム、出し物チームに分かれて誕生会を企画していきます。司会チームでは、誰がどの言葉を言うのか、手遊びは何をするのか、インタビューの内容などを子ども達で決め、本番に向けて練習に励みます。出し物チームでは、どんな出し物をするのか話し合い、1から考えていきます。本番は緊張している姿もありますが、やり遂げた後は「楽しかった」と達成感に満ちた表情をしています。

○絵本委員会

期ごとにメンバーを募り活動しています。子ども達と一緒に季節から連想していきウェブを広げ、おすすめの絵本を探します。子ども達は細かいところまでよく見ており、「この場面がおもしろい」と絵本を選んだ理由を教えてください。自分の選んだおすすめ絵本を読んでいる友達の姿に「それ私のおすすめ絵本」と、嬉しそうな表情を浮かべています。

○パズル委員会

有志を募って、コーナーで遊ぶパズルを選びます。「最近パズルをしている子少ない」とのことだったので、園にあるパズルの一覧や新しいパズルのカタログを見ながら、どんなパズルがあれば楽しくなるかを考えました。「これはにじ組さんもしているから残しておこう」「このパズル楽しそう」と、友達のことも考えながらパズルを選んでいました。

○サーキット委員会

体育遊びの際、子ども達が難波先生に代わってオリジナルのサーキットを考えます。子ども達にどんなサーキットにしたいか尋ねると「これまで見たことのない自分達だけのサーキットを作りたい」という言葉が出てきました。子ども達で話し合い、サーキットコースが決まると次は実際にサーキットを組み、やってみて気づいたことを共有し、より良いものになるよう話し合いを重ねます。当日はサーキット委員が最初の挨拶から、体操、コース説明、そして最後の挨拶まで行ないます。友達が楽しそうにサーキットをしている姿を見て嬉しそうな子ども達でした。

お台所の先生から



近藤 戸井

【2月3日は節分】

2月4日の立春の前日にあたり、冬と春の境目であるため、季節の変わり目に鬼＝邪が入りやすいとされたため、新しい年に向けて家中の鬼を払い、福を呼び込むために行なわれる「豆まき」や、その年の恵方に向けて、願い事を心の中で唱えながら食べる恵方巻、関西を中心とした西日本で行われている風習である「柊鱒（イワシの頭をヒイラギに刺して玄関に掲げる）」が古くからの風習として残っています。なぜ鱒と柊なのかということ、鱒を焼くときに出る煙と強い臭いで邪気を追い払い、尖った柊で鬼の眼を刺すという魔除け・厄払いの意味があるといわれています。また鱒を食べて体の中の邪気を追い払うという理由もあるようです。大豆や鱒、恵方巻は栄養分が豊富なので、無病息災を祈願する意味合いも込められていたといわれています。

今年の給食ではお昼に鱒・おやつに恵方巻を提供し、無病息災をお願いしながら、みんなで頂きたいと思います。



【手作り味噌 完成しました♪】

かもめ組で8月に仕込んだお味噌は暑い夏を越えて発酵し、とうとう完成しました。完成したお味噌はどうなったかな？と、かもめ組のみんなで混ぜながら様子を見てみました。混ぜていると部屋中に味噌の匂いが広がり「しょうゆみたいなおいがる」「おいしそう！」と興味津々で一生懸命混ぜており、その後少しずつ味見をしてみると、とても美味しかったようでスプーンにあるほんの少量のお味噌を大切に少しずつ食べていました。

このお味噌は園庭で育てている冬野菜のクッキングで使ったり、給食のお味噌汁に使ったりして、はっとこども園のみんなで味わいたいと思います。





ほけんだより

看護師 森らき 榎木

年未年始のお休みはいかがお過ごしでしたか。不規則な生活習慣がついてしまった…というお子さんはいませんか。この寒い時期、空気が乾燥し、感染症や、皮膚のトラブル、ドライアイなど目のトラブル等さまざまなトラブルが出てきます。体調を崩しやすいこの時期、気持ちも新たに今年1年元気で過ごしましょう。

スキンケアと効果ある軟膏と保湿剤の塗り方

～乾燥からお子様の肌を守りましょう～

- ・朝、夕2回保湿が基本
- ・直に肌につく下着は、汗の吸い取りの良いものを選ぶ
- ・厚着をしない
- ・爪はこまめに切る（角や引っ掛かりがないようにやすりを掛ける）
- ・よだれは消化液なのでできるだけ濡れたもので拭き、皮膚に残さない

～効果のある軟膏と保湿剤の塗り方～

- ・洗った後、潤いが残っているうちに、やさしく広げて塗る
- ・軟膏は基本的に、大人の両手の平の面積を塗るのに、大人の人差し指の関節1節分が必要です。少ないと十分な効果ができません
- ・除去食の指示やアレルギーもないのに食べて口の周りが赤くなる時には、食前に皮膚をきれいに拭いてから、ワセリンを塗って保護する方法がおすすめです
- ・医師によると皮膚が裂けたり、切れたり悪化傾向にあるときは、ステロイドを3日間使用し、症状が治まれば保湿剤に切り替えるのが基本的な使い方とのことです

お知らせとお願い

園において昨年の9月～11月にはインフルエンザ、11月～12月にかけては咽頭結膜炎（プール熱）が流行しました。感染症の方が出た場合、はっとこども園の玄関横のホワイトボードにその都度、病名を記載していますのでご確認ください。

発熱やその他の症状で、病院受診されて、感染症の診断がついたら、主治医に意見書を書いていただき、速やかに園に連絡をお願いします。（内容によっては登園届でよい場合もあります）またご家族が、感染されたときもご連絡をお願いします。胃腸炎など下痢で欠席した後の登園の目安は症状が治まり、水分が普通に摂れ、食事量が普通の半分程度摂れることです。

*ご質問や詳しく聞きたいことがありましたら看護師までお尋ねください。

体育遊び

難波

あけましておめでとうございます今年もよろしくお願ひします。

第6期では、複合動作をたくさん実施し、動きの安定感を図ってきました。ジャンプした後身体を小さくくぐる動作や、ぶらさがりながらボールを挟む動作など、上肢と下肢で違う動作も繰り返し行ってきました。第7期では、その動作が確かに行なっていけるよう、引き続きサーキット運動で身体の使い方を身に付けていきます。

第7期の取り組みとねらい

サーキット運動

○3 歳児クラス

U形サーキット

- ・複合動作①（～しながら～するという2つの動作を同時に行なう）を繰り返し経験していきながら、安定感を図る。
- ・基本動作（渡る・ぶらさがる・跳ぶなど）を確かにしていく。

○4 歳児クラス

U形サーキット

- ・複合動作②（・・・しながら・・・して・・・する、というように、1つの動作に3つ以上の動きを同時に行なう）を経験していく。
- ・勢いをつけるところ、勢いを抑えるところなど、動作によって区別ができるように行なう。

○5 歳児クラス

U形サーキット

- ・連続性、スピードやリズム、きめ細かさなどの要素によって動きをまとめる力を身につけていく。
- ・複合動作③（上肢は・・・しながら、下肢は・・・しながら・・・するというように、1つの動作に上肢と下肢を同時に行なう）確かにしていく。

ポイント指導

・3 歳児クラス

- ・マット「前回り」⇒支持をしながら、回転力を使い起き上がりまで行なう。
- ・跳び箱「台からジャンプで開脚乗り」⇒ジャンプから腕支持で跳び箱に開脚で乗る。
- ・鉄棒「つばめ～前回りおり」⇒腕支持から、手を離さず前に回る。

・4 歳児クラス

- ・マット「坂付き後転・後転」⇒坂付き後転から、坂なし後転の両方を行なう。
- ・跳び箱「開脚とび」⇒助走から両足踏み切り、お尻を高く上げながら跳び越す。
- ・鉄棒「坂付き逆上がり」⇒壁を強く蹴って回る感覚を養う。

・5 歳児クラス

- ・マット「側転」⇒着手の際に、マットを見ながら足を高く振り上げていく。
- ・跳び箱「開脚とび」⇒足を大きく開き、着地までの安定感を図る。
- ・鉄棒「逆上がり」⇒蹴り上げを強くし、腕をひきつけたまま、回る。



保護者の皆さまへ

こども園へご意見やご相談がありましたら、いつでもお声掛けください。

また、卒園後も変わらずお待ちしております。お子様はもちろん、保護者の方も
お顔を見せて頂き、お話が出来れば嬉しく思います。

担当：橋本